WCCP のリバース透過キャッシングのトラブル シューティング

内容

<u>概要</u>
<u>前提条件</u>
<u>要件</u>
<u>使用するコンポーネント</u>
<u>表記法</u>
<u>コンフィギュレーション</u>
<u> 関連情報</u>

<u>概要</u>

このドキュメントでは、Web Cache Communication Protocol(WCCP)を使用してリバース透過 キャッシングを実装するときに WCCP をトラブルシューティングする方法について説明します 。

<u>前提条件</u>

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

<u>使用するコンポーネント</u>

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Supervisor 1およびMSFC 1がネイティブモードで設定されたCatalyst 6500
- ・Cisco IOS®ソフトウェアリリース12.1(8a)EX(c6sup11-jsv-mz.121-8a.EX.bin)
- バージョン2.51のCache Engine 550

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています 。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的 な影響について確実に理解しておく必要があります。

<u>表記法</u>

ドキュメント表記の詳細は、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。





Content Servers

Cache Engineをインストールする場合は、WCCPの実装に必要なコマンドだけを設定することを 推奨します。ルータやクライアントのリダイレクトリストに認証などの他の機能を後で追加でき ます。

キャッシュエンジンで、ルータのIPアドレスと使用するWCCPのバージョンを指定する必要があ ります。

wccp router-list 1 192.168.15.1
wccp reverse-proxy router-list-num 1
wccp version 2

WCCPのIPアドレスとバージョンを設定すると、リバース透過キャッシングを実装するためにル ータでサービス99をアクティブにする必要があることを警告するメッセージが表示されることが あります。サービス99は、リバース透過キャッシングのWCCPサービスIDです。通常の透過キャ ッシングの識別子は、Cisco IOSの「web-cache」という語です。ルータでサービス99(リバース 透過キャッシング)をアクティブにし、リダイレクションを実行するポートを指定するには、グ ローバルコンフィギュレーションモードで次のコマンドを追加します。

ip wccp 99
interface Vlan200
 ip address 10.10.10.120 255.255.255.0
 ip wccp 99 redirect out

Reverse Transparent Cachingを設定すると、WCCPサービス99を実行するルータがWebサーバに 向けられた要求を代行受信します。ip wccp 99 redirect outコマンドは、Webサーバへのパス内の クライアントHTTPパケットをインターセプトするインターフェイスに適用されます。通常、こ れはWebサーバVLANです。これは通常、キャッシュエンジンがインストールされているVLANで はありません。

WCCPがアクティブになると、ルータはWCCPリダイレクトが設定されているすべてのポートで リッスンします。Cache Engineは、WCCP **Here I am**パケットをルータリストに設定されている IPアドレスに送信して、その存在を示します。

ルータとキャッシュ間のWCCP接続が形成されます。接続情報を表示するには、show ip wccpコ マンドを**発行し**ます。

ルータIDは、キャッシュエンジンで認識されるルータのIPアドレスです。この識別子は、リダイ レクトされたトラフィックがキャッシュに到達するために使用するルータインターフェイスとは 限りません。この例のルータIDは192.168.15.1です。

Global WCCP information:	
Router information:	
Router Identifier:	192.168.15.1
Protocol Version:	2.0
Service Identifier: 99	
Number of Cache Engines:	1
Number of routers:	1
Total Packets Redirected:	0
Redirect access-list:	-none-
Total Packets Denied Redirect:	0
Total Packets Unassigned:	0
Group access-list:	-none-
Total Messages Denied to Group:	0
Total Authentication failures:	0

show ip wccp 99 detailコマンドは、キャッシュに関する詳細情報を提供します。

Router#show ip wccp 99 detail

WCCP Cache-Engine information: IP Address: 192.168.15.2 Protocol Version: 2.0 State: Usable Redirection: GRE

Initial Hash Info:	FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF
	FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF
Assigned Hash Info:	FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF
	FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF
Hash Allotment:	256 (100.00%)
Packets Redirected:	0
Connect Time:	00:00:39

Redirectionフィールドは、ルータからキャッシュエンジンにパケットをリダイレクトするために 使用する方法を表します。この方法は、総称ルーティングカプセル化(GRE)またはレイヤ2のいず れかです。GREでは、パケットはGREパケットにカプセル化されます。レイヤ2では、パケット はキャッシュに直接送信されますが、レイヤ2リダイレクションでは、キャッシュエンジンとスイ ッチまたはルータがレイヤ2隣接関係である必要があります。

ハッシュ割り当て[情報(Initial Hash Info)][報(Assigned Hash Info)]フィールドで16進数で表され ます。これは、このキャッシュに割り当てられているハッシュバケットの数です。すべての可能 な送信元インターネットアドレスは、64の等しいサイズの範囲(範囲ごとに1つのバケット)に 分割され、各キャッシュには、これらのバケットの送信元アドレス範囲の数からトラフィックが 割り当てられます。この量は、キャッシュの負荷と負荷の重み付けに応じてWCCPによって動的 に管理されます。キャッシュが1つだけインストールされている場合、このキャッシュはすべての バケットに割り当てられます。

ルータがキャッシュエンジンへのパケットのリダイレクトを開始すると、[リダイレクトされたパケットの合計]が増加します。

Total Packets Unassignedフィールドは、どのキャッシュにも割り当てられていなかったためリダ イレクトされなかったパケットの数です。この例では、パケットの数は5です。キャッシュの初期 検出時またはキャッシュが削除された場合に、パケットが割り当てられていない場合があります 。

Router# show ip wccp	
Global WCCP information:	
Router information:	
Router Identifier:	192.168.15.1
Protocol Version:	2.0
Service Identifier: 99	
Number of Cache Engines:	1
Number of routers:	1
Total Packets Redirected:	28
Redirect access-list:	-none-
Total Packets Denied Redirect:	0
Total Packets Unassigned:	5
Group access-list:	-none-
Total Messages Denied to Group:	0
Total Authentication failures:	0

キャッシュがルータによって取得されない場合は、WCCPアクティビティをデバッグすると便利 です。ルータがキャッシュからHere I am**パケットを受け取る**と、「I see you」**パケットで応答し** て、デバッグで報告されます。使用できるデバッグ コマンドは debug ip wccp events および debug ip wccp packets です。

注: debug コマンドを使用する前に、『debug コマンドの重要な情報』を参照してください。

次の出力は、通常のWCCPデバッグメッセージの例を示しています。

Router#debug ip wccp event WCCP events debugging is on Router#debug ip wccp packet WCCP packet info debugging is on Router# 2d18h: WCCP-EVNT:S00: Built new router view: 0 routers, 0 usable web caches, change # 00000001 2d18h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 0000001 2d18h: WCCP-EVNT:S00: Redirect_Assignment packet from 192.168.15.2 fails source check 2d18h: %WCCP-5-SERVICEFOUND: Service web-cache acquired on Web Cache 192.168.15.2 2d18h: WCCP-PKT:S00: Received valid Here I Am packet from 192.168.15.2 w/rcv_id 00000001 2d18h: WCCP-EVNT:S00: Built new router view: 1 routers, 1 usable web caches, change # 00000002 2d18h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 0000002 2d18h: WCCP-EVNT:S00: Built new router view: 1 routers, 1 usable web caches, change # 00000002 2d18h: WCCP-PKT:S00: Received valid Redirect_Assignment packet from 192.168.15.2 w/rcv_id 0000002 2d18h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 0000003 2d18h: WCCP-EVNT:S00: Built new router view: 1 routers, 1 usable web caches, change # 0000002 2d18h: WCCP-PKT:S00: Received valid Redirect_Assignment packet from 192.168.15.2 w/rcv_id 00000003 2d18h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 0000004 2d18h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 0000005 2d18h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 0000006 2d18h: WCCP-EVNT:S00: Built new router view: 1 routers, 1 usable web caches, change # 00000002 2d18h: WCCP-PKT:S00: Received valid Redirect_Assignment packet from 192.168.15.2 w/rcv_id 0000006

デバッグレベルを上げるには、IPパケットトラフィックをトレースして、ルータがキャッシュエ ンジンからパケットを受信しているかどうかを確認します。実稼働環境でルータの過負荷を回避 し、対象トラフィックのみを表示するために、ACLを使用して、デバッグを送信元としてキャッ シュのIPアドレスを持つパケットだけに制限できます。ACLの例は、access-list 130 permit ip host 192.168.15.2 host 192.168.15.1です。

2d19h: datagramsize=174, IP 18392: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 160, fragment 0, fo 0, rcvd 3 2d19h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 0000001D 2d19h: datagramsize=174, IP 18394: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 160, fragment 0, fo 0, rcvd 3 2d19h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 0000001E 2d19h: datagramsize=378, IP 18398: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 364, fragment 0, fo 0, rcvd 3 2d19h: WCCP-EVNT:S00: Built new router view: 1 routers, 1 usable web caches, change # 00000002 2d19h: WCCP-PKT:S00: Received valid Redirect_Assignment packet from 192.168.15.2 w/rcv_id 000001E 2d19h: datagramsize=174, IP 18402: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 160, fragment 0, fo 0, rcvd 3 2d19h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 0000001F 2d19h: datagramsize=174, IP 18404: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 160, fragment 0, fo 0, rcvd 3 2d19h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 00000020 2d19h: datagramsize=174, IP 18406: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 160, fragment 0, fo 0, rcvd 3 2d19h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 00000021 2d19h: datagramsize=378, IP 18410: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 364, fragment 0, fo 0, rcvd 3 2d19h: WCCP-EVNT:S00: Built new router view: 1 routers, 1 usable web caches, change # 00000002 2d19h: WCCP-PKT:S00: Received valid Redirect_Assignment packet from 192.168.15.2 w/rcv_id 0000021 2d19h: datagramsize=174, IP 18414: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 160, fragment 0, fo 0, rcvd 3 2d19h: WCCP-PKT:S00: Sending I_See_You packet to 192.168.15.2 w/ rcv_id 00000022 2d19h: datagramsize=174, IP 18416: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 160, fragment 0, fo 0, rcvd 3 ルータによってキャッシュが見えず、WCCPアクティビティが見られない場合は、基本的な接続

を確認します。ルータからキャッシュへ、またはキャッシュからルータへ、ping を送信してみて ください。pingが成功すると、設定にエラーが存在する可能性があります。

キャッシュが取得されてもパケットがリダイレクトされない場合は、ルータがトラフィックを受信し、ip wccp 99 redirect outコマンドが適用されるインターフェイスにトラフィックが転送されることを確認します。インターセプトされてリダイレクトされるトラフィックは、TCPポート80宛てのトラフィックだけであることに注意してください。

トラフィックがまだリダイレクトされておらず、Webコンテンツがサーバから直接送信されてい る場合は、キャッシュが代行受信の命令を正しく渡していることを確認します。この操作を完了 するには、WCCPの背景情報が必要です。

WCCPは、次の2種類のサービスを認識します。*標準およ*び動的な*機能*。ルータは、標準サービ スを暗黙的に認識しています。つまり、ポート80を使用するようにルータに指示する必要はあり ません。これは、ルータがすでにポート80を使用することを認識しているためです。通常の透過 キャッシュ(Web-cache - standard service 0)は標準サービスです。

その他のケース(透過キャッシングを含む)では、ルータにインターセプトするポートが指示さ れます。この情報はHere I amパケット**に渡され**ま**す**。

debug ip packet dumpコマンドを発行すると、パケット自体を調べることができます。作成した ACLを使用して、キャッシュエンジンから送信されたパケットのみをデバッグします。 Router#debug ip packet 130 dump 2d19h: datagramsize=174, IP 19576: s=192.168.15.2 (Vlan300), d=192.168.15.1 (Vlan300), totlen 160, fragment 0, fo 0, rcvd 3 072C5120: 0004 9B294800 ...)H. !--- Start IP header. 072C5130: 00500F0D 25360800 450000A0 4C780000 .P..%6..E.. Lx. 072C5140: 3F118F81 C0A80F02 C0A80F01 08000800 ?...@(..... 072C5150: 008CF09E **000000A** 020007C 00000004 ..p...... !--- Start WCCP header. 072C5160: 00000000 00010018 0163E606 00000515cf..... 072C5170: 00**50**0000 0000000 0000000 0000000 .P..... !--- Port to intercept (0x50=80). 072C5180: 0003002C C0A80F02 00000000 FFFFFFFF ...,@(....... 072C51A0: FFFFFFF FFFFFFF FFFF0000 00000000 072C51B0: 00050018 0000002 0000001 C0A80F01 072C51C0: 0000000C 00000001 C0A80F02 00080008@(..... 072C51D0: 00010004 00000001 300

このコマンドを使用すると、Request For Comments(RFC)全体を表示しなくても、ポートがアド バタイズされているかどうかを確認できます。 ポートがアドバタイズされていない場合は、おそ らくキャッシュの設定に問題があります。

詳細はWeb Cache Coordination Protocol V2.0を参照。

キャッシュが取得され、パケットがリダイレクトされても、インターネットクライアントがサー バーを参照できない場合は、キャッシュがインターネットとサーバーに接続できるかどうかを確 認してください。キャッシュから、インターネット上のさまざまなIPアドレスと内部サーバの一 部にpingを実行します。IPアドレスではなく完全修飾ドメイン(URL)にpingを実行する場合は、キャッシュ設定で使用するDNSサーバを指定してください。

キャッシュが要求を処理しているかどうかがわからない場合は、キャッシュ内のHTTPアクティ ビティをデバッグできます。キャッシュ内のHTTPアクティビティをデバッグするには、キャッ シュの過負荷を回避するようにトラフィックを制限する必要があります。ルータで、インターネ ット上の1つのクライアントの送信元IPアドレスを使用してACLを作成し、テスト用のデバイスと して使用し、グローバルコマンドip wccp 99のオプションredirect-listを使用します。

Router(config)#access-list 50 permit 172.17.241.126
Router(config)#ip wccp 99 redirect-list 50

ACLを作成して適用したら、次の手順を実行します。

- 1. コマンド**debug http all all** (Cisco Cache Engineバージョン2.x)または**debug http all** (Cisco Cache Engineバージョン3およびACNSバージョン4、5)を使用して、キャッシュ 内のHTTPデバッグをアクティブにします。
- 2. ターミナル監視をアクティブにします(term monコマンドを発行します)。

3. ACLで設定したクライアントから、いずれかのサーバを参照してみます。 次に出力例を示します。

irq0#conf tcework_readfirstdata() Start the recv: 0xb820800 len 4096 timeout
 0x3a98 ms ctx 0xb87d800
 cework_recvurl() Start the request: 0xb20c800 0xb20c838 0xb20c8e0
 Http Request headers received from client:
 GET / HTTP/1.1

Host: 10.10.10.152 User-Agent: Links (0.92; Linux 2.2.16-22 i686) Accept: */* Accept-Charset: us-ascii, ISO-8859-1, ISO-8859-2, ISO-8859-4, ISO-8895-5, ISO-8859-13, windows-1250, windws-1251, windows-1257, cp437, cp850, cp852, cp866, x-cp866-u, x-mac-ce, x-kam-cs, x-koi8-r, x-koi8-u, utf8 Connection: Keep-Alive Protocol dispatch: mode=1 proto=2 ValidateCode() Begin: pRequest=0xb20c800 Proxy: CACHE_MISS: HealProcessUserRequest cework_teefile() 0xb20c800: Try to connect to server: CheckProxyServerOut(): Outgoing proxy is not enable: 0xb20c800 (F) GetServerSocket(): Forwarding to server: pHost = 10.10.10.152, Port = 80 HttpServerConnectCallBack : Connect call back socket = 267982944, error = 0 Http request headers sent to server: GET / HTTP/1.1 Host: 10.10.10.152 User-Agent: Links (0.92; Linux 2.2.16-22 i686) Accept: */* Accept-Charset: us-ascii, ISO-8859-1, ISO-8859-2, ISO-8859-4, ISO-8895-5, ISO-8859-13, windows-1250, windws-1251, windows-1257, cp437, cp850, cp852, cp866, x-cp866-u, x-mac-ce, x-kam-cs, x-koi8-r, x-koi8-u, utf8 Connection: keep-alive Via: 1.1 irq0 X-Forwarded-For: 172.17.241.126 cework_sendrequest: lBytesRemote = 386, nLength = 386 (0xb20c800) ReadResCharRecvCallback(): lBytesRemote = 1818, nLength = 1432 0xb20c800) IsResponseCacheable() OBJECTSIZE_IS_UNLIMITED, lContentLength = 3194 cework_processresponse() : 0xb20c800 is cacheable Http response headers received from server: HTTP/1.1 200 OK Date: Tue, 20 Nov 2001 10:46:14 GMT Server: Apache/1.3.12 (Unix) (Red Hat/Linux) mod_ssl/2.6.6 OpenSSL/0.9.5a mod_perl/1.24 Last-Modified: Fri, 12 Oct 2001 12:55:23 GMT ETag: "5e23-c7a-3bc6e83b" Accept-Ranges: bytes Content-Length: 3194 Keep-Alive: timeout=15, max=100 Connection: Keep-Alive Content-Type: text/html GetUpdateCode(): GET request from client, GET request to server. GetUpdateCode(): nRequestType = -1 SetTChain() 0xb20c800: CACHE OBJECT CLIENT OBJECT sendobj and cache Http response headers sent to client: HTTP/1.1 200 OK Date: Tue, 20 Nov 2001 10:46:14 GMT Server: Apache/1.3.12 (Unix) (Red Hat/Linux) mod_ssl/2.6.6 OpenSSL/0.9.5a mod_per1/1.24 Last-Modified: Fri, 12 Oct 2001 12:55:23 GMT ETag: "5e23-c7a-3bc6e83b" Content-Length: 3194 Keep-Alive: timeout=15, max=100 Content-Type: text/html Connection: keep-alive cework_tee_sendheaders() 0xb20c800: sent 323 bytes to client cework_tee_send_zbuf() 0xb20c800: Send 1087 bytes to client (1087) UseContentLength(): Valid Content-Length (T) cework_tee_recv_zbuf() 0xb20c800: Register to recv 2107 bytes timeout 120 sec

HttpServerRecvCallBack(): Recv Call Back socket 267982944, err 0, length 2107
HttpServerRecvCallBack(): lBytesRemote = 3925, nLength = 2107 (186697728)
cework_tee_send_zbuf() 0xb20c800: Send 2107 bytes to client (2107)
UseContentLength(): Valid Content-Length (T)
cework_setstats(): lBytesLocal = 0, lBytesRemote = 3925 (0xb20c800)
cework_readfirstdata() Start the recv: 0xb84a080 len 4096 timeout 0x3a98
ms ctx 0xb87d800
cework_cleanup_final() End the request: 0xb20c800 0xb20c838 0xb20c8e0

デバッグで見つかった関連情報は、太字で強調表示されます。

Webページトランザクションの異なるフェーズは次のとおりです。

1. クライアントから受信したHTTP要求ヘッダー。

- 2. HTTP要求ヘッダーがサーバーに送信されました。
- 3. HTTP応答ヘッダーをサーバーから受信しました。
- 4. クライアントに送信されるHTTP応答ヘッダー。

参照するWebページに複数のオブジェクトが含まれている場合、この一連のイベントの複数のイ ンスタンスが存在します。最も簡単な要求を使用して、デバッグ出力を減らします。

Catalyst 6500またはCisco 7600ルータでは、Feature ManagerがCisco IOSで設定されたすべての 機能を処理して、トラブルシューティングの追加レイヤを提供します。これらのデバイスでレイ ヤ3機能を設定すると、受信したフレームの処理方法を定義する情報が、スイッチまたはルータの レイヤ2制御機能(機能マネージャ)に渡されます。WCCPの場合、この制御情報は、IOSおよ びWCCPによって代行受信され、トランスペアレントキャッシュに転送されるパケットを定義し ます。

show fm featuresコマンドは、Cisco IOSで有効になっている機能を表示します。このコマンドを 使用すると、インターセプトするポートがキャッシュエンジンによって正しくアドバタイズされ ているかどうかを確認できます。

```
Router#show fm features
  Redundancy Status: stand-alone
   Interface: Vlan200 IP is enabled
    hw[EGRESS] = 1, hw[INGRESS] = 1
    hw_force_default[EGRESS] = 0, hw_force_default[INGRESS] = 0
    mcast = 0
    priority = 2
    reflexive = 0
    vacc map :
     outbound label: 5
          merge_err: 0
          protocol: ip
             feature #: 1
             feature id: FM_IP_WCCP
             Service ID: 99
             Service Type: 1
The following are the used labels
    label 5:
           swidb: Vlan200
           Vlous:
The following are the features configured
     IP WCCP: service_id = 99, service_type = 1, state = ACTIVE
           outbound users:
```

```
user_idb: Vlan200
WC list:
    address: 192.168.15.2
Service ports:
    ports[0]: 80
The following is the ip ACLs port expansion information
    FM_EXP knob configured: yes
FM mode for WCCP: GRE (flowmask: destination-only)
FM redirect index base: 0x7E00
The following are internal statistics
    Number of pending tcam inserts: 0
    Number of merge queue elements: 0
```

コマンドshow fm int vlan 200は、Ternary Content Addressable Memory(TCAM)の正確な内容を表示します。

Router#show fm int vlan 200 Interface: Vlan200 IP is enabled hw[EGRESS] = 1, hw[INGRESS] = 1hw_force_default[EGRESS] = 0, hw_force_default[INGRESS] = 0 mcast = 0priority = 2reflexive = 0vacc_map : outbound label: 5 merge_err: 0 protocol: ip feature #: 1 feature id: FM_IP_WCCP Service ID: 99 Service Type: 1 (only for IP_PROT) DestAddr SrcAddr Dpt Spt L4OP TOS Est prot Rslt vmr IP value #1: 0.0.0.0 192.168.15.2 0 0 0 0 6 perm. permit vmr IP mask #1: 0.0.0.0 255.255.255.255 0 0 0 0 0 FF vmr IP value #2: 0.0.0.0 0.0.0.0 80 0 0 0 0 6 bridge FFFF 0 0 0 0 FF vmr IP mask #2: 0.0.0.0 0.0.0.0 0 0 0 0 0 0 permit vmr IP value #3: 0.0.0.0 0.0.0.0 0 vmr IP mask #3: 0.0.0.0 0.0.0.0 0 0 0 0 0

vmr IP# 1:lineは、キャッシュエンジンから送信されるフレームのインターセプションバイパスを 定義します。これを行わないと、リダイレクションループが発生します。vmr IP# 2:lineは、宛先 としてポート80を持つすべてのパケットの代行受信を定義します。2行目にポート80が表示され ていないが、WCCPがアクティブで、キャッシュがルータで使用可能な場合、キャッシュ設定に 問題がある可能性があります。ポートがキャッシュによって送信さ**れているかどうかを判断**する ために、「Here I am packet」のダンプを収集します。

トラブルシューティング後に問題を解決できない場合は、Cisco <u>Technical Assistance</u> <u>Center(TAC)に問題を報告してください</u>。

Cisco TACに提供する必要がある基本情報を次に示します。ルータから、次の情報を収集します。

• show techコマンドの出力。show running-configコマンドとshow version outputコマンドの出

力は、show tech出力のサイズに問題がある場合に置き換えることが**できま**す。

- show ip wccpコマンドの出力。
- show ip wccp web-cache detailコマンドの出力。
- ルータとWebキャッシュの間の通信に問題がある場合は、問題が発生している間にdebug ip wccp eventsコマンドとdebug ip wccp packetsコマンドの出力を提供します。

キャッシュエンジン(Cisco Cache Engineのみ)で、show techコマンドの出力を収集します。

TACに連絡する際は、次の手順を実行します。

 問題の明確な説明を入力します。次の質問に対する回答を含める必要があります。どのよう な現象ですか。常に発生するか、まれに発生するか。設定を変更した後に問題が発生しまし たか。シスコまたはサードパーティのキャッシュは使用されますか。

2. トポロジの明確な説明を入力します。より明確になる場合は、図を含めます。

3. 問題の解決に役立つと思われる他の情報を提供します。

設定例の出力を次に示します。

```
Router#show running
  Building configuration...
Current configuration : 4231 bytes
  version 12.1
  service timestamps debug uptime
  service timestamps log uptime
  no service password-encryption
  1
  hostname Router
  1
  boot buffersize 126968
  boot bootldr bootflash:c6msfc-boot-mz.120-7.XE1
  1
  redundancy
   main-cpu
    auto-sync standard
  ip subnet-zero
  ip wccp 99
  1
  !
  1
  interface FastEthernet3/1
   no ip address
   switchport
   switchport access vlan 100
   switchport mode access
  1
  interface FastEthernet3/2
   no ip address
   switchport
   switchport access vlan 200
   switchport mode access
  1
  interface FastEthernet3/3
   no ip address
   switchport
   switchport access vlan 300
   switchport mode access
```

```
1
  interface FastEthernet3/4
   no ip address
  !
Ţ
  interface Vlan100
   ip address 172.17.241.97 255.255.255.0
  1
  interface Vlan200
   ip address 10.10.10.120 255.255.255.0
   ip wccp 99 redirect out
  1
  interface Vlan300
   ip address 192.168.15.1 255.255.255.0
  !
  ip classless
  ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 172.17.241.1
  no ip http server
  1
  access-list 30 permit 192.168.15.2
  1
  1
  line con 0
   exec-timeout 0 0
  line vty 0 4
   login
   transport input lat pad mop telnet rlogin udptn
                                                    nasi
  1
  end
Cache#show running
Building configuration...
  Current configuration:
  1
  1
  logging disk /local/syslog.txt debug
  !
  user add admin uid 0 capability admin-access
  1
  1
  1
  hostname Cache
  1
  interface ethernet 0
   ip address 192.168.15.2 255.255.255.0
   ip broadcast-address 192.168.15.255
   exit
  !
  interface ethernet 1
   exit
  !
  ip default-gateway 192.168.15.1
  ip name-server 172.17.247.195
  ip domain-name cisco.com
  ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 192.168.15.1
  cron file /local/etc/crontab
  1
  wccp router-list 1 192.168.15.1
  wccp reverse-proxy router-list-num 1
  wccp version 2
  !
  authentication login local enable
  authentication configuration local enable
  rule no-cache url-regex .*cgi-bin.*
```

```
rule no-cache url-regex .*aw-cgi.*
!
end
```

関連情報

- <u>Cisco キャッシュ ソフトウェア</u>
- Cisco 500 シリーズ キャッシュ エンジン
- Web Cache Communications Protocol (WCCP; Web キャッシュ通信プロトコル)
- <u>Cisco Cache Engine 2.0ソフトウェアダウンロードページ(</u>登録ユーザ専用)
- <u>Cisco Cache Engine 3.0ソフトウェアダウンロードページ(</u>登録<u>ユーザ</u>専用)
- <u>テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems</u>